SHINING FORCE

SHINING FORCE
TOSHIHIRO ONO
1992

SHINING FORCE

CONTENTS

ビョオオオオオォ
街だ…。

ガーディアナの町
ポゥ
う〜ん、どうしてもうまくいかない…。
やっぱり、おいらには魔法の才能はないのかなあ。
ポ
じーっ

な、なんだよ
あんたは…。
あっちいけ！
しっしっ！
今の…。
今の魔法、もう一回やってみてくださいい！
何か……
思い出せそうな気がするんです。
はぁ？
ロウ。
危ないから中庭で魔法の練習は
ねえちゃん、変なヤツが…。
あら…。
旅のお方ね
ガーディアナにようこそ！
はい！
まあ、りっぱな剣！
お城にご用ですか。
……。
わかりません。
?
おれ全然わからないんです！
はい！
???????
は、はい？

それでは、記憶が全くないのですか…。

はい…、気がついたらこの街の近くを歩いてました。

ただ…、このロウくんが魔法の練習をしているのを見て、何か思い出せそうな気がしたんです。

まあ……。

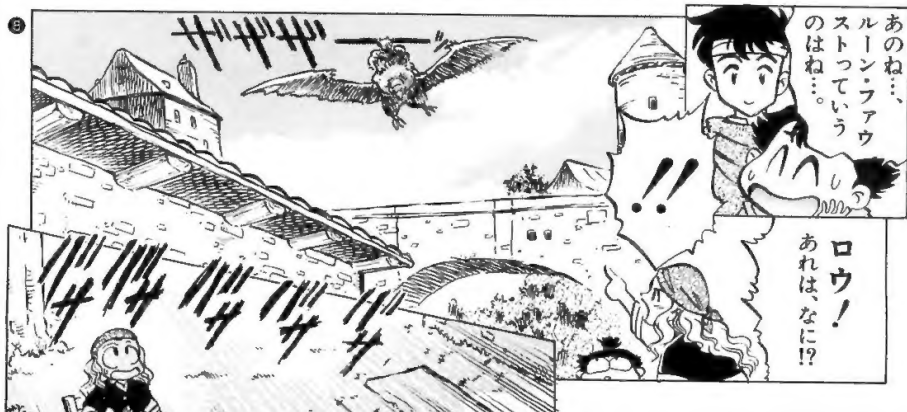
かわいそうに。

ルーン・ファウスト軍だよ！

あんたは、きっとやつらにひどいめにあわされたんだ！

ルーン・ファウスト？

なんですか、それ？

のべっ

ついに見つけたぞ、マ～ックスめ!!

ル、ルーン・ファウスト軍のゴブリンだわ!!

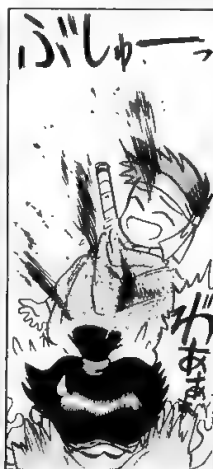
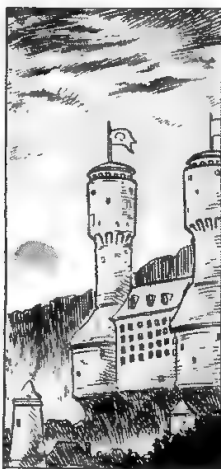
くっくっく、こんな所でおまえに会えるとはな…。
手がら、一人じめだ…。

聞いてるのか!? マ～ックス。

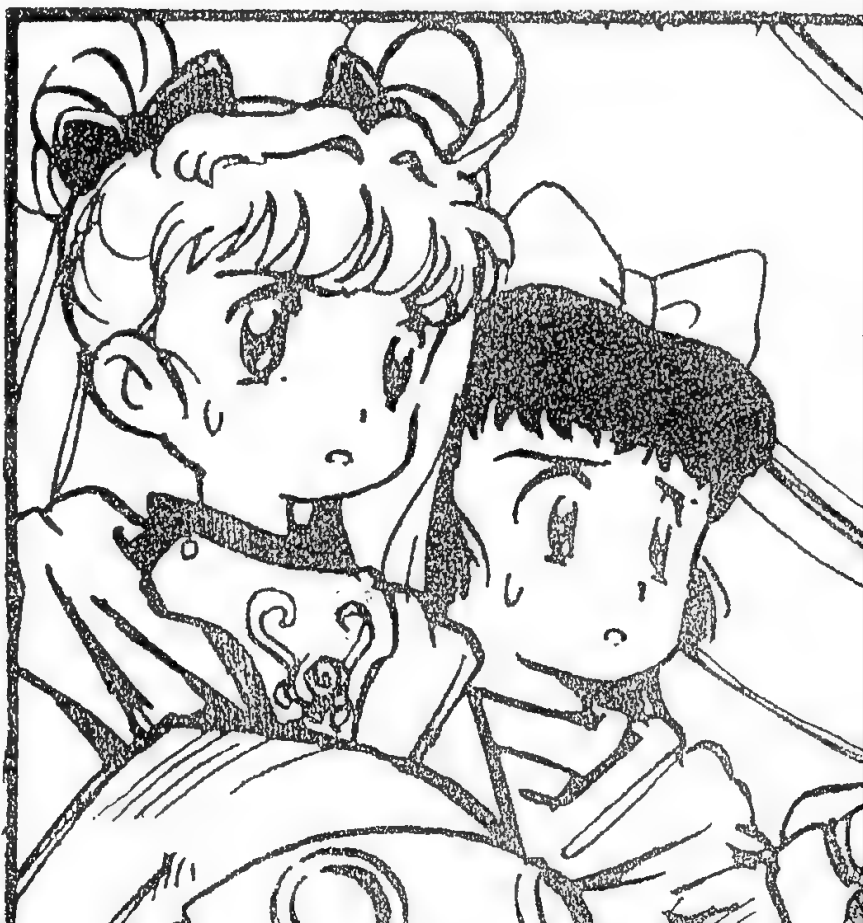
きょろきょろ
おまえのことだよ、おまえ!!

え？
お、おれ、「マ〜ックス」っていう名まえなの？
忘れないうちに、書きとめておかないと…。
マ〜ックス・と
こら、こら、少しは、緊張感を出せ！
ロウ！今のうちに騎士団長のバリオスさまに知らせてきて…。
うん！
ひょ
あ
バリオスに知らせるだと〜、この〜!!
くっくっくっ
ひ
キャあああああ
んがーっ
助けて〜!!
まず、おまえたちから、昼めしに食ってやる。

あ゛
あ゛

大丈夫ですか？
え、ええ…、どうもありがとう。

なに!?謎の剣士だと…。
ゴブリンを一撃のもとにうちたおし…。
記憶のない少年…。
うむ……。
正体はわからぬが、少なくてもルーン・ファウストの者ではない。
闇の力にあやつられた、ルーン・ファウストが、明日にでも攻めてくるかもしれぬ今…。
その剣士は、わがガーディアナ国に、神がつかわせた強力な味方かもしれん。
案内せい、その男のもとへ!!
ぱから ぱから
あ〜ん
ルウさんのスープとってもおいしいです!
んぐんぐ
やだあ、マックスさんたら……。
ほのぼの
姉ちゃんおいらのメシは…?
強力……ですか?
う゛ーむ

ちょーど#1を描いたころ「ようこそようこ」に
ハマりまくっていたので マックスの口グセが
「はい!」になってしまった・・・
ちょっとヒドいよね^^;

▶田沼先生の「SF」にも出てた2人(笑) 正式なメ、ドーか?

ルーン大陸の
西のはずれに
ある小国、
ガーディアナ
王国……。
ここでは、
何百年もの間
ずっと
平和な時間が
流れていた
……。
ところが…。
ガーディアナに
向かって、
強大な軍事大国
ルーンファウストが
侵攻を
開始した!!
彼らの
目的は、
いったい
何か!?
今
ガーディアナ王国は
未曽有の
脅威に
さらされていた!!

ガーディアナ王国――
イィアアアアアアッ!!

ヒュン
一本!!
マックス兄ちゃんの勝ち!
はい!
すげえや、兄ちゃん!
ガーディアナ一の剣士、バリオスさまが手も足も出ないなんて……。
う、うむ…。
さあ、帰ろうぜ兄ちゃん。
ペコ
おいらハラペコペコ
バリオスさま、おけいこありがとうございました。
う、うむ…。

たのもしい男だ……。
記憶を失ったあの男が、この国にあらわれて一年……。
わかったことは、「マックス」という名と剣の腕前だけ……。
ま、それだけわかれば十分か……。
バリオスさま！
至急、城内におもどりください！
!?
何か起こったのか!?
早いものね。
マックスさんがうちに来て、もう一年がたつなんて……。
はい！早いです。

でも、記憶はぜんぜんもどらないなー。
それはもういいんだ。
え？
どんな人でも、記憶はいつかうすらいでいきます。
昔どこかのだれかだった自分を探すことより…。
はい
今、ルウさんやロウといっしょにいる自分が、何ができるかを探した方がいいと思います。
マックスさん……。
ルウさんのスープを飲めて、幸せです。
はい。
きょろきょろ
きゅ〜ん
姉ちゃん、マックス兄ちゃんと結婚したら……？
にまぁ
い、いきなり何言うのよ！
マ、マックスさんにし、失礼でしょ！
はい！なんですか？
結婚って？

そのころ城内では—。
なんですと!?
ルーンファウスト軍が古えの城をさぐっていると!!
これは、ゆゆしき事態だ。
古えの城の奥深くに眠るといわれる「神々の遺産」……。
あれが、やつらの手にわたってしまったら……。
ゴク
さっそく一大隊の討伐軍を!
いや、待て!へたに刺激すれば、やつらに全面戦争の口実を与えるだけ。
ここは、少数精鋭の調査隊を!
だれか、適任者が?
おります!
あの男なら!
やってくれます!!

ええ…!!

おれが調査隊のリーダー!?

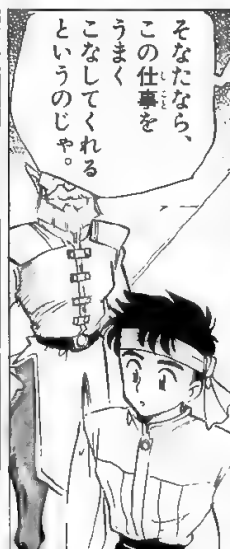
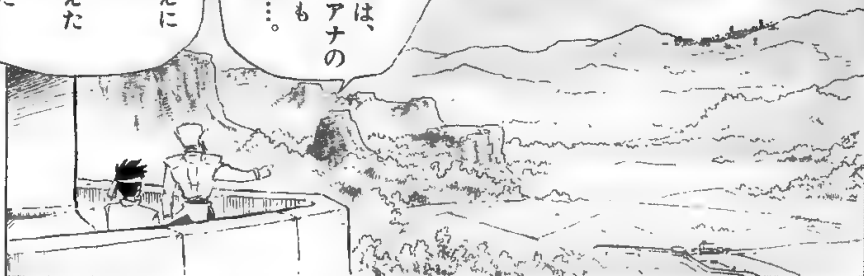
バリオスが、そなたにいたくほれこんでおってな。

そなたなら、この仕事をうまくこなしてくれるというのじゃ。

危険で重要な仕事じゃが…、

どうかの…、引き受けてくれんか。

ハイ!

喜んで!

古えの城は、ガーディアナの建国よりもずっと昔…。
言い伝えによれば、千年も前に栄えた文明の名残りだそうだ…。

じゃあ、「神々の遺産」というのは古代人の残した宝物なんですか?
それはどうかな。
おそろしい兵器かもしれん。
どちらにしろ、人がふれてはいけない、神聖なものなのだ。

この者たちが、きみと同行する仲間だ!!
騎士ケン・グレン。
光栄です。
魔道士タオ・カンタル。よろしくな。
戦士ラグ・オズワ。や! はじめまして。
そして…。
弓兵ハンス・ユニバース。
フン
みなさん、はじめまして!
おれ、マックスです。
よろしくお願いします!

あんたのうわさは、よく聞いてるよ。
しかし、いくらバリオスさまがあんたを高くかっていようが…。
おれは、正体不明の男を仲間にするつもりはない！

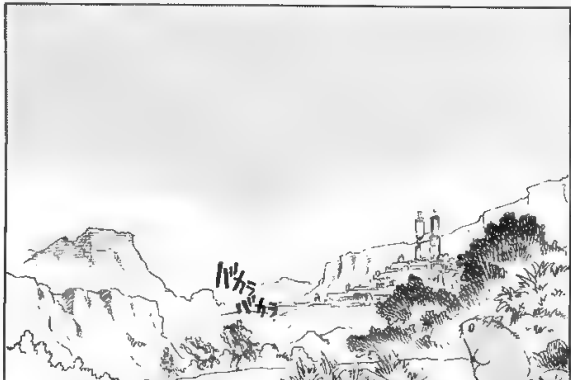
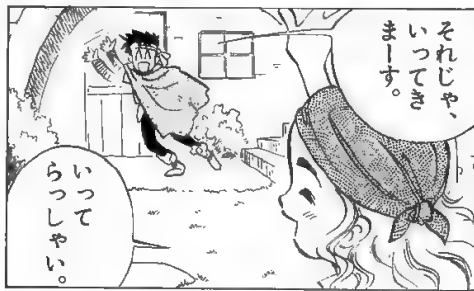
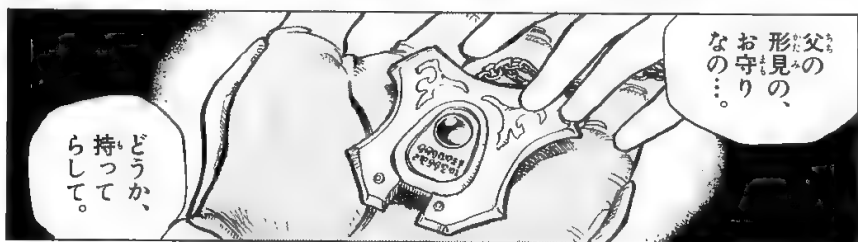
おれはバリオスさまの顔をたててここに来ただけだ。

あばよ。
ハンスさん！

ほっときなよ。
タオさん。

あいつの一族は、有名な貴族エルフで、気位が高いのさ。
あたいたちみたいに、下々の者とはいっしょにいたくないってわけさ。

しかたないの。
では、調査隊は明朝出発だ。
はい！

お気をつけて…、マックスさん。
はい！気をつけます。
それと、これを……。
父の形見の、お守りなの…。
どうか、持ってらして。
ありがとう、ルウさん。
大切にします。
それじゃ、いってきまーす。
いってらっしゃい。
そういえば…。
ロウはどこいったのかしら。

マックス！
昼すぎには着くと思うが…。
やつらは、夜行性の連中が多い。
陽が落ちる前には、引きあげような。
はい！ラグさん。

ええ。春の武芸大会の時に一度…。
覚えててくれたんですね。
うれしいな。
ひと休みっと
ケンさんとは、一度お会いしたことがありましたよね。
ぼ、ぼく、あの時からマックスさんを尊敬してるんです！
強くてやさしいマックスさんを！
キラキラ
へー、ファンがいるんだ。
やるじゃん、あんたも。
なにがですか
マックス！ちょっとこっちに来てくれ！
なんですか？ラグさん。
ロウ!!!
どうしてこんな所に!?
だれかにやられたのか!?
に、兄ちゃん。
はらへった…。

ばくばく
ばく

じゃあ、マックスを先回りしようとして…。
昨夜のうちに街を出て、ここまで歩いてきて…。
つかれてねむったってわけか。
むちゃするなぁ。

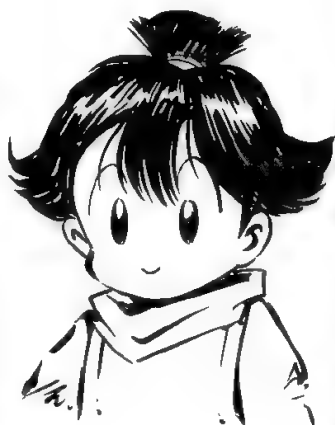
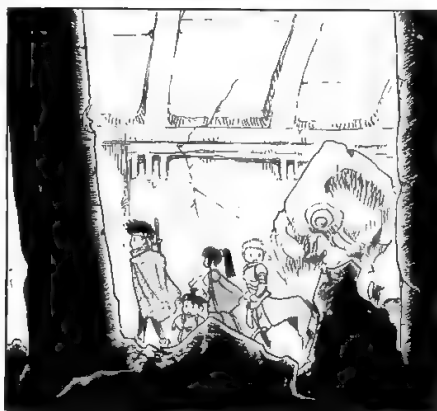
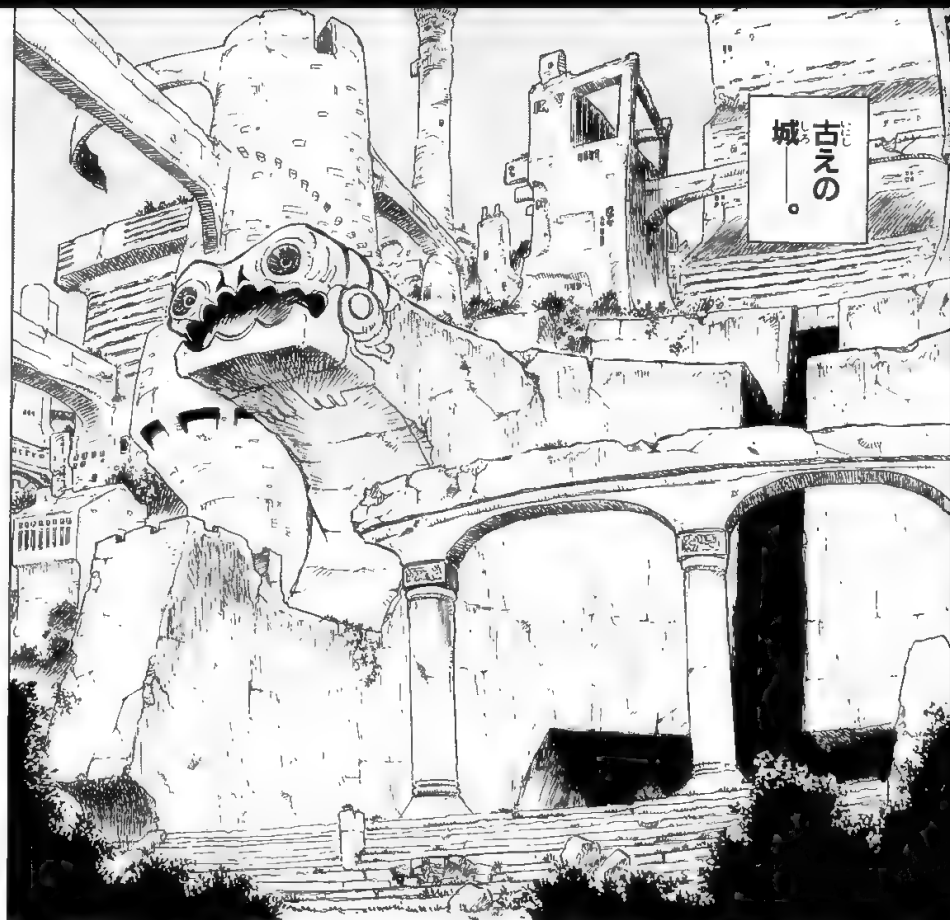
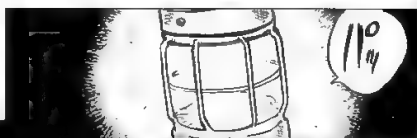
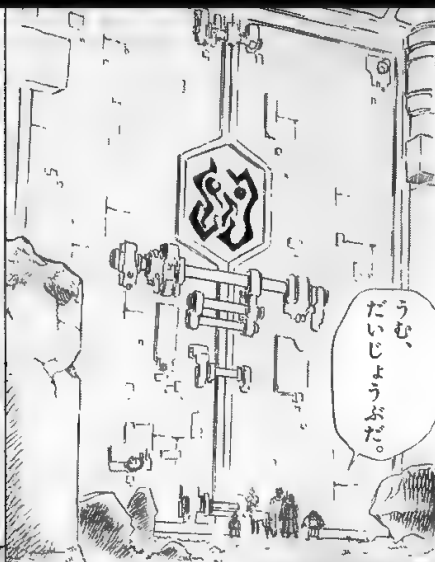
兄ちゃん！おいらもいっしょに連れてってくれよ!!

ね。おねがい兄ちゃん
どすんのリーダー
一人で帰すわけにもいきませんからね。
やれやれ。
わーい

古えの城――。

うむ、
だいじょうぶだ。
ブル
早く明かりを！
！
パッ
ズシャ
ザザザ
おまえたち、ガーディアナの者だな!!
しまった！いつの間に!!

ガーディアナか……。
ひひひひ…。
？
今ごろ本隊が…。
ひゃははははは。
なんなんだ、こいつら。
あたいが魔法をしかける。
その間にケンはロウを連れて右上の窓から外へ…。
わかりました。
殺せ！
いくよ!!
ヒュン

ひるむな!!
殺せ!!
タオさん
あぶない!!

っ たく、見てらんないぜ。
ハンスさん。
来てくれたんですね!
たいへんだ、兄ちゃん!
街が…!
街が燃えてるよ!!
バリオスさまのたのみだからしかたなくな。
ガーディアナが燃えてるんだ!!
なんだって!?

ガーディアナ王国

くそっ、ルーンファウストめ!

おれたちがいない間に、城を攻めるとは!!

ロウ！
おいら、うちに行ってみる！
フン
城になら、「神々の遺産」の封印をとくカギがあると思ったが、
あてがはずれたわ。
のお、エリオット将軍…。
………。
ああっ

陛下!!
ドギャ
い、いったい、なんのためにこんなことを!
マックス、落ちつけ!
なにっ!?
マックス!?
そうか、あいつがマックスか…。

いつの間にかこの国に流れついていたのか。
しかも、カイン殿とこんな形で…。
悲しい運命の皮肉よ…。
はーっはっはっは
きさまがマックスか!!
なんという間抜け面。
ルーンファウストは、こんな男におびえていたのか!
?
エリオット将軍、行こう。
これ以上、この国にいるのはむだだ。

ま、待て！
きさまは。
ズゴオオ
我が名は、ギガ・カイン。
次に出会ったときが、きさまの最期だ！メガ・マックス。
消えた…。
陛下！！
メガ…マックス？

次に出会ったときが、きさまの最期だ！メガ・マックス。
メガ・マックス…。
それが、おれの名前なんだろうか…。
しかし、なぜあの男が…。
おれの失つた過去と、何か関係が……。
マックス兄ちゃん。
姉ちゃんが、姉ちゃんがさらわれちゃったよォ。
え？ルウさんが!?
ルーンファウストにさらわれるのを見た人がいるんだ…。
ルウさん…。

マーックス!

ルーン
ファウストの
動きが
わかったよ!
やつら、
北へ向かった
らしい!
どうする?
マックス。

あ、
マックス!
兄ちゃーん。

奴等は
なぜ
ルウさんを?

港町リンドリンド

この街も、ルーンファウストの兵士でいっぱいだあ。
マックス。
マックス。

ちょっと、マックス！
あんた、一人でどーする気よ！
こんな敵のまん中で！

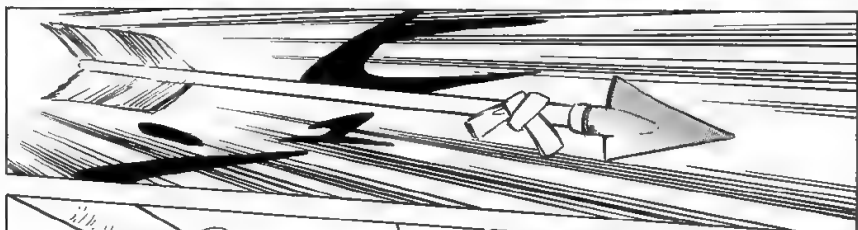
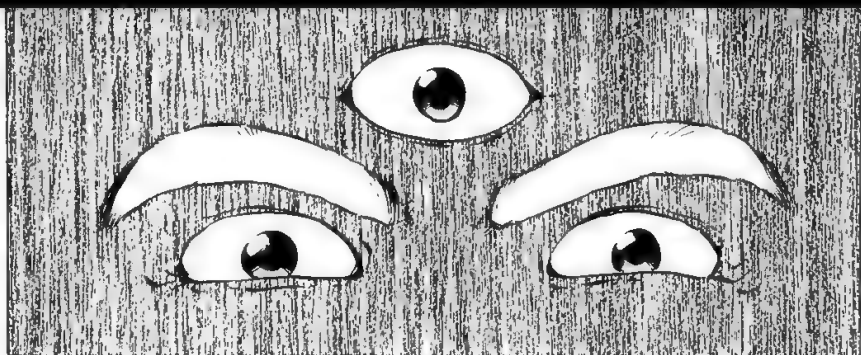
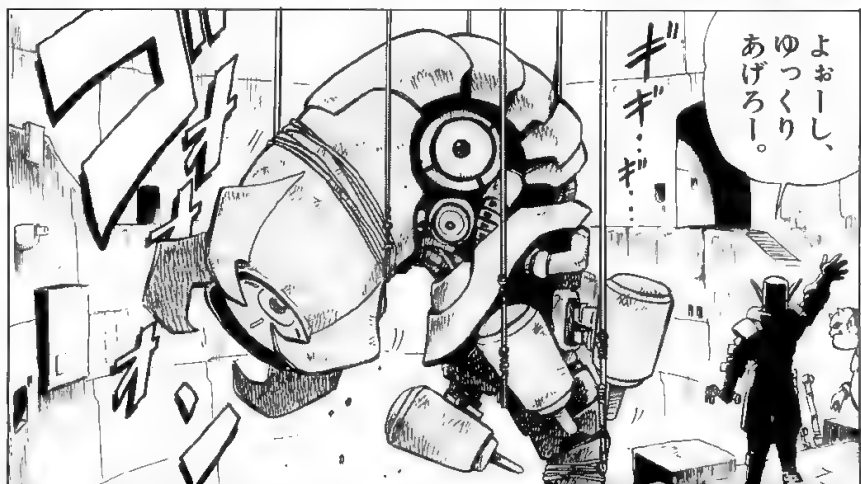
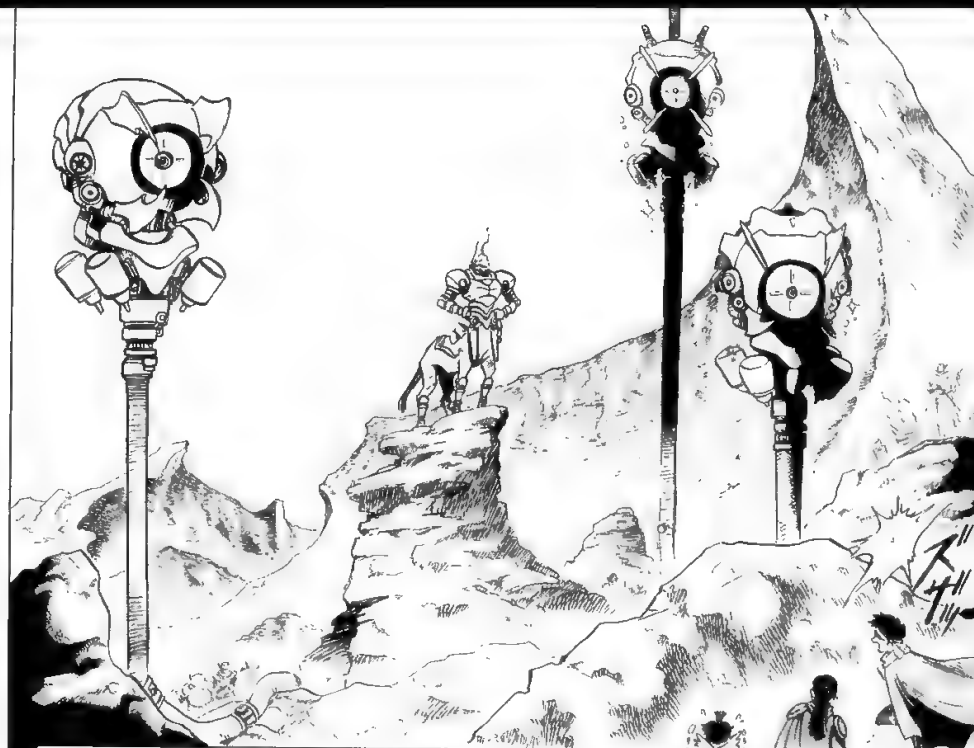
ルウさんが心配なのはわかるけど…。
でも…、今は…。

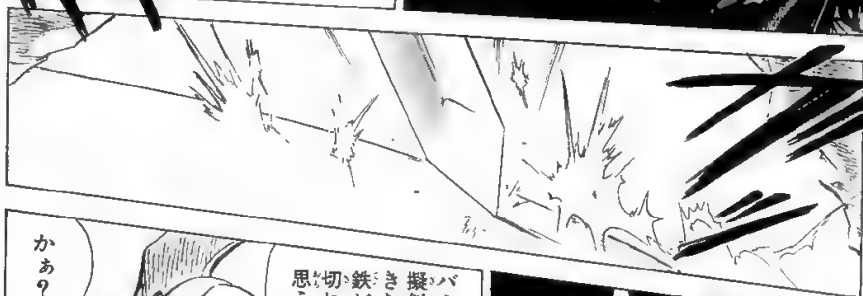
矢文だ。

ルーンファウストの野望、
バストークの廃鉱山に
あり――。

だれがこれを？

とにかく、行ってみましょう。

バストーク廃鉱山(はこうざん)

あれは!?
前世紀の古代呪器!
ルーンファウストめ、とんでもない物を掘りだしてる。
なんですか、タオさんそれは?
「擬似魔法」だよ。
現在の「精霊魔法」は、自然と同化することで得る力だけど…。
「擬似魔法」っていうのは、自然を数式で壊して、人の都合のいい形にする悪しき呪文さ。
擬似魔法のせいで、1000年前世界は焦土と化した。
あいつら、もう一度世界を滅ぼす気か!!
それはまちがいだよ、お嬢さん…。

ズザザ
どんなに強い炎も、扱う人間によっては善い力になるんですよ。
できのよい道具を眠らせておくのは、もったいないでしょう？
ガーディアナを焼いといて、今さら！
おやおや、ガーディアナの人たちですか…。
悪い芽は、早めにつみとるのが責任者の務め…。
ここの秘密を知ったからには、あなたたちもつみとらせてもらいます。
パチン

なんと!
古代呪器の
熱針光を
よけるとは!

バカめ！擬似魔法できたえられた鉄が切れると思うの…、
かぁ？

そうか、
おまえが
……、

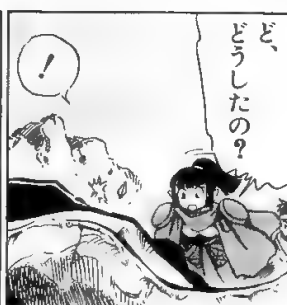
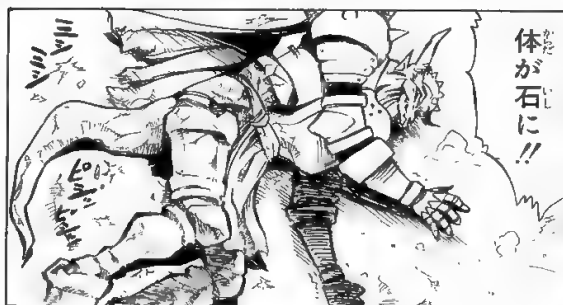
メガ・
マックス。

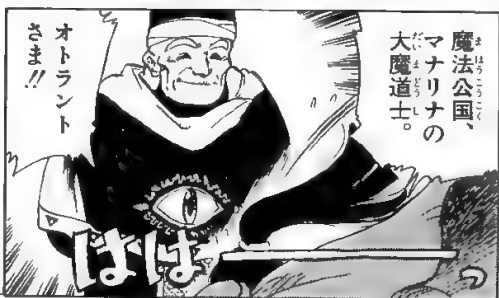
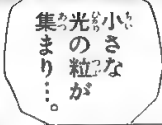
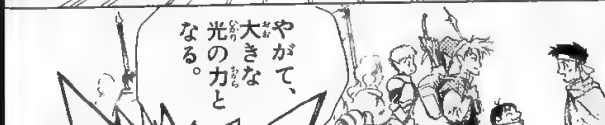
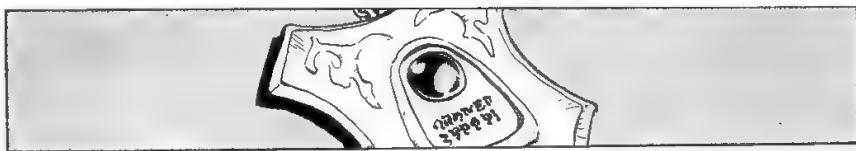
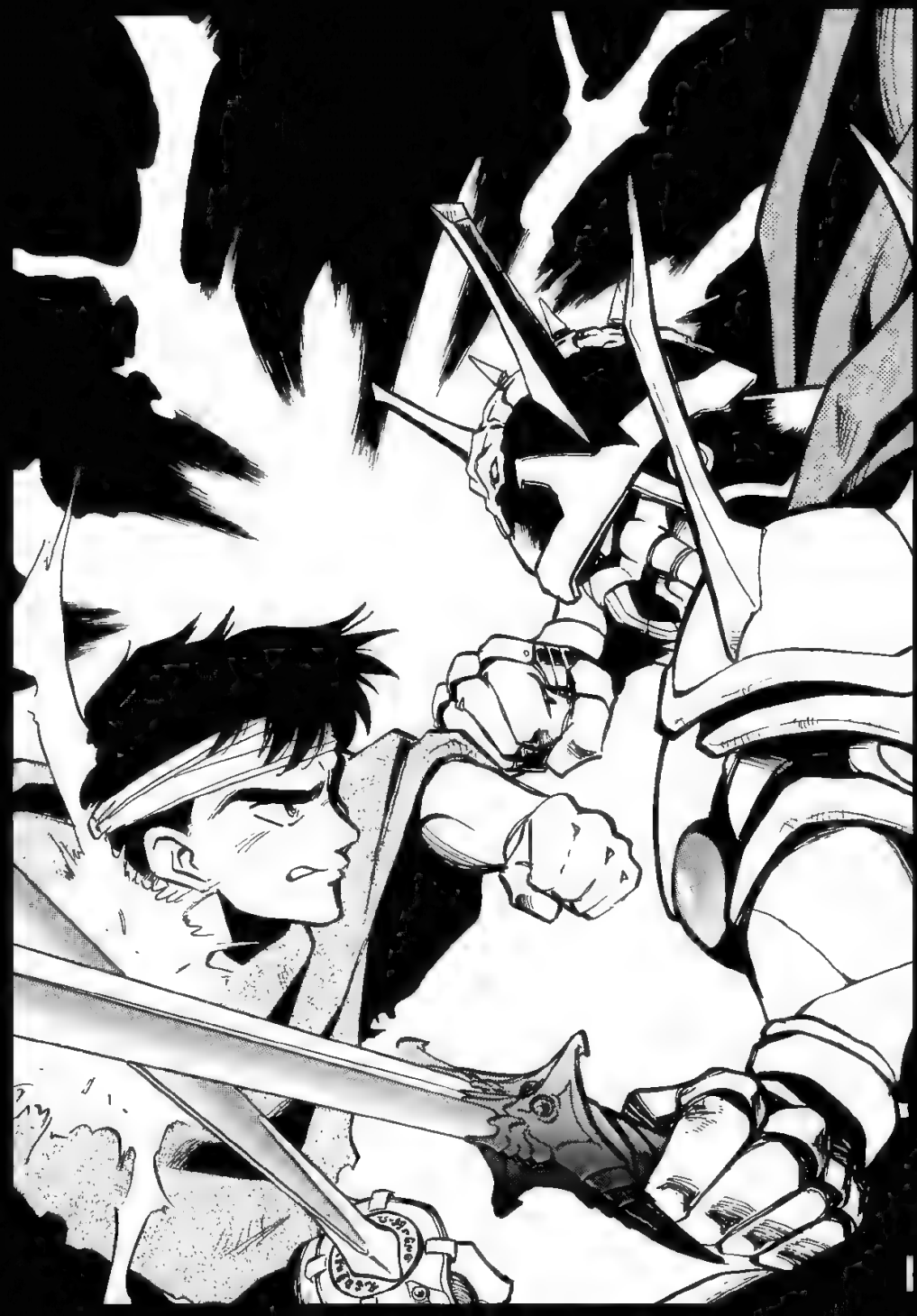
これで、はっきりしました。
ルーンファウストは、全世界を巻きこむ戦争を始めようとしています。
だれかが止めないと……。
おれたちでやりましょう。
ええっ？
おれたちは、知ってしまった。
知ったからには、目をつぶるわけにはいきません。
できると思うか？
おまえは！
陛下を殺した…！
あれは、無益な殺生だった。
得たものは何もない！

だが、ある日突然、国王ラムラドゥさまの心がわりによって国は一変してしまった…。

それも、すべてあの男のせいで…。

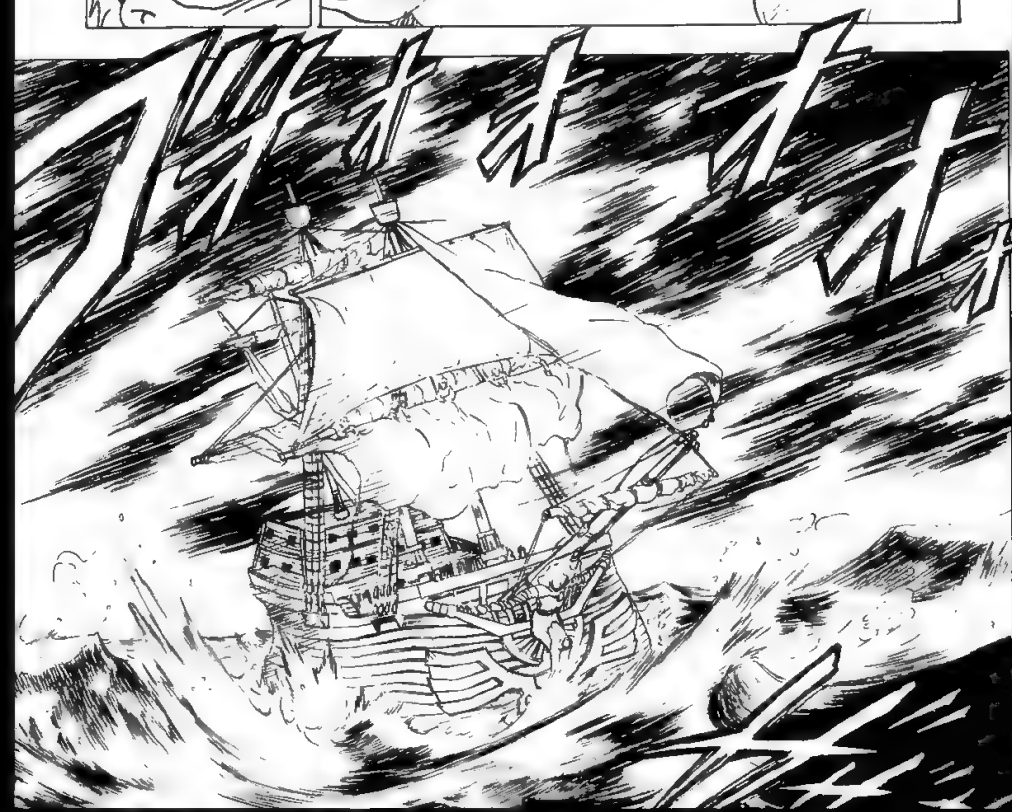
だが、わたしは心変わりなどしてはいない。
国を売ったわけでもない……。
武人としての自分の心に、従ったまでだ……。

マックス！
たのむ！
ルーンファウストを救ってくれ！

「ある男」ってカインのこと？
ハッ
ピシッピシッ
いや、ちがう……。
カイン殿は……。
マックスの……。
巨大な魔法障壁だ！
あれじゃ、東の大陸にわたれない！
ザーン
ルーンファウストめ、海上封鎖のつもりか？
おかしな具合になってきやがったぜ。
急いで、マックスさんたちと合流しましょう。

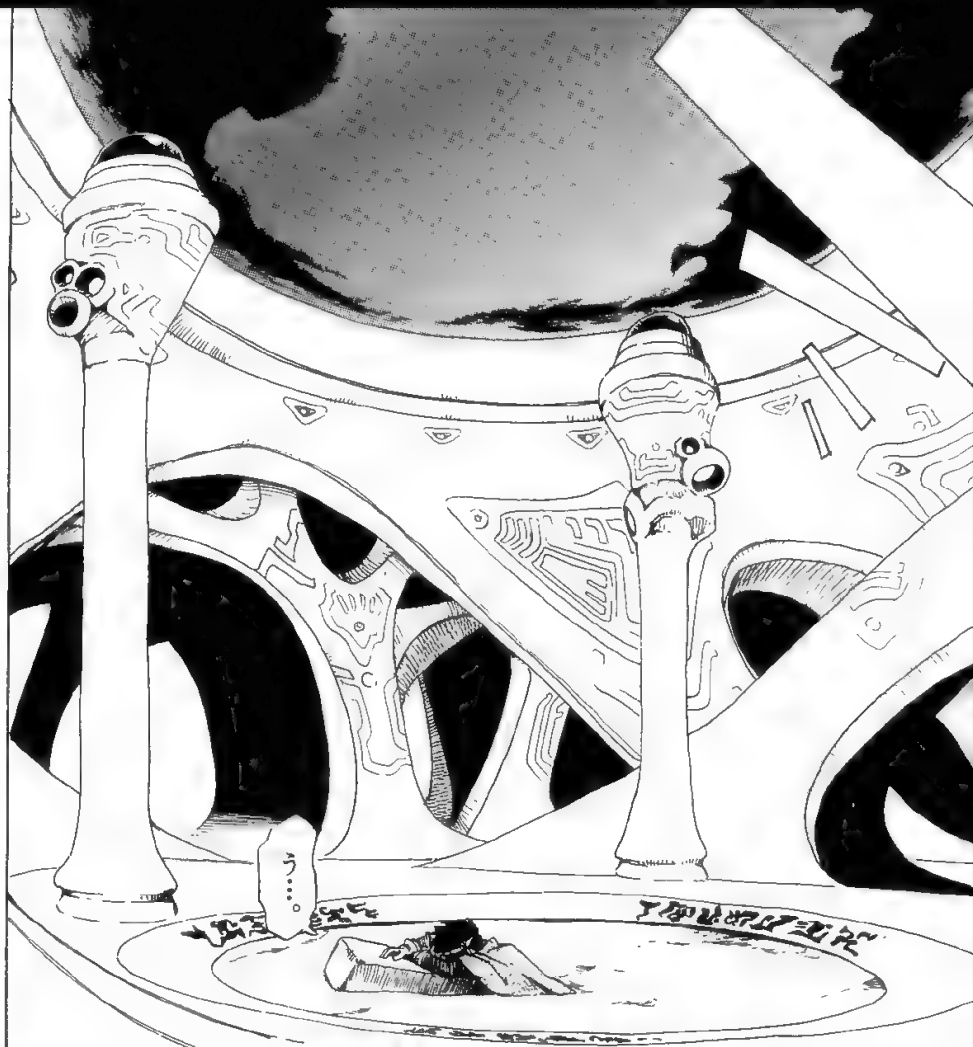
あんな巨大な魔法障壁をつくれるなんて……。
あの壁がある限り、東の大陸には近づくこともできないのか……。
ルーンファウストでは、とんでもないことが起こっているに違いない……。
ね
フォフォフォッ
そうでもないぞよ。
なんだ？じいさん。
あ
魔法公国、マナリナの大魔道士。
オトラント さま!!
はは
世界中の魔道士の頂点に立つお方だよ。
へー
ふーん
おぬしたちの活躍は、この「真実の目」でしかと見た！
そして、おぬしたちならルーンファウストの野望を止めてくれると確信した。
わたしの船をやろう。障壁をやぶれる、魔法船をな。

ザッザッ
ま～ってくださ～い
でも、オトラントさま、たった三人では…。
仲間なら、ほれあそこに。
小さな光の粒が集まり…。
やがて、大きな光の力となる。
そのとき、光の力をつかさどるおぬしたちは、こう呼ばれるだろう。
シャイニング・フォース!! すなわち「光の軍勢」と!!

このまんがで一番好きなセリフ
「ぶるんぶるんゆれてます ハイ!」
のんきでいーよね

フフフ…。
わが名は、暗黒の騎士ギガ・カイン。
死ね!! メガ・マックス。
おまえは何者だ。おれの過去を知っているのか!?
カシィィィン
その仮面をとって答えてくれ!

ククク……。
見たいか？おれさまの素顔を…。

お、おれの
顔……。
そうさ。
おれはマックスさ。
マックスなんだよ。
ゆ、夢か……。

ズアー
ゴッ
わー!
ゴォオオオ

さっきまであんなに晴れてたのに！
ルーンファウストのしかけた魔結界にはまったらしい！
きゃーっ
あ〜っ、あぶない、タオさん！
あ、ありがとうマックス…。
……………。
マッ、マックス…。
あの…
なんですか？タオさん。
ム…ムネ。
ああっ、ご、ごめんなさい！

マックス……。
マックス……。
え？
人魚？
マックスが落ちた!?

う…。
ここは…。
海底神殿(かいていしんでん)!?

ようこそメガ・マックス。
!
だれ?
わたしはこの神殿であなたを待ち続けていた者です。
人魚をつかってあなたを呼びました。
おれを?
あなたに託された使命を伝えるために…。
!!
……。
あなたたちが「神々の遺産」と呼ぶ物…。
それは、千年前勇気ある者たちによって永遠に封印された悪しき力なのです。
その封印をルーンファウストは解こうとしているのです。

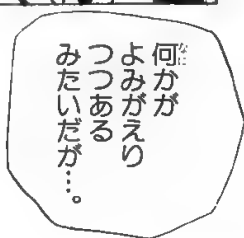
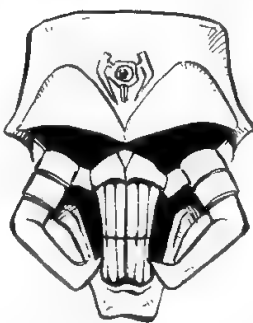
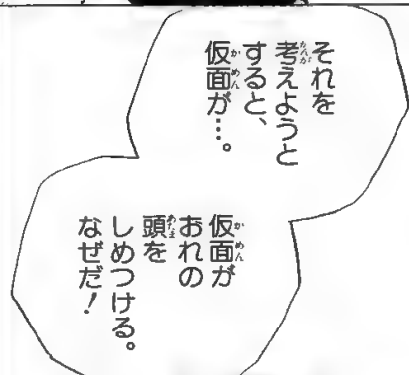
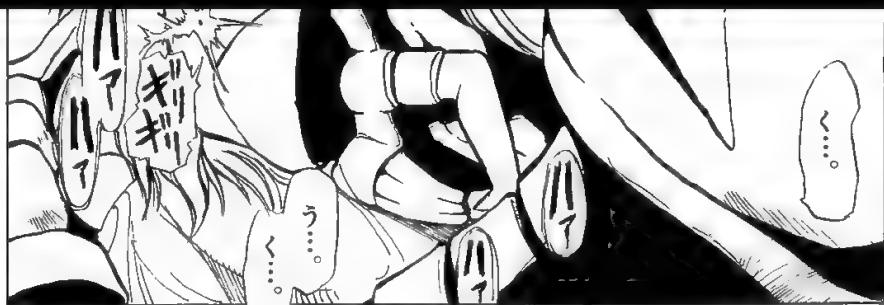
しかし、悪しき力をよみがえさせるには、ふたつの物が必要なのです。
それはいったい?
ひとつは封印を解くためのカギ…。
もうひとつは悪しき力を操る法が記された秘伝の書です…。
そしてあなたの使命とは…。
悪しき力からこの世界を守ること!
あなたは、そのためにこの世に生まれたのです。
さあ、そこにある剣をとりなさい。
それは、あなたのためにつくられた剣。

光の剣です。
そして、秘伝の書はドラゴニアの聖神殿にあります。
急いでください。
すでにルーンファウストは動きだしています。
ちょ、ちょっと待ってください。
いきなりいろんなこといわれても！
あなたならしってるんでしょ？
そうだ！
おれの過去を!!

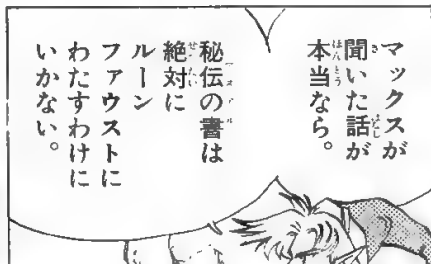
ババシュウウ。
……わたしの役目はこれで終わりです。
わたしの最後の力で魔結界に道をつくります。
魔結界の外までは人魚におくらせましょう。
待ってください。
ドドドドド
マックス!……。
はい?
ドドドド
カインを……。
カインを助けてあげて…。
おねがい…マックス…。
ゴゴゴゴゴ。

見て。海底に巨大などうくつが見えるわ!!
じゃあマックスはそこへ？
見ろ！魔結界に道ができていくぞ。
どーゆーことだ。
!!
カインを助ける…!?

東の大陸コンガ地方上空――。
オオーン
ホーンホン
カインさまは?
お部屋でおやすみになられています。
オン
ゴオ

く……。
ハァ
ハァ
う……。
く……。
ギリギリ
ハァ
ハァ
あ、
頭が
われそうだ
……。
ギリ
ギリ
ハァ
ハァ
マックスだ。
ギリ
ギリ
あいつに
会ってから
頭痛が
おこるように
なった……。
ハァ
ハァ
何かが
よみがえり
つつある
みたいだが……。
それを
考えようと
すると、
仮面が……。
仮面が
おれの
頭を
しめつける。
なぜだ！
カインさま。
コン
コン
！
入れ！
キィ

本国からの通信です。
「昨日ルドル地方にて一隻の魔法船を発見。」
「情報によると乗員らはドラゴニアへむかったと思われる。」
「貴艦はドラゴニアへ向かい乗員を発見しだい殺せ。」以上。
フッ
魔法障壁を越えてこの大陸にわたってきたバカがいる。
そんなやつは一人しかいない…。マックスだ。
ドラゴニアか…。あんな古い国に何の用があるか知らんが…。
やつの始末はおれの手でつけてやる。
くっくっくっ。面白い!
艦をまわせ!
ドラゴニアへ前進全速!!

あれがドラゴニアの聖神殿よ。

本当さ…。

よし！
手わけして
さがそう。
秘伝の書
…。
光の剣
……。
カインと
おれの、
失われた
記憶…。
おれは、
いったい…？
なにかの力が
おれを
導いている…。
遅かったな、
メガ・マックス。
！

ギガ・カイン！
しまった！秘伝の書はすでにおまえたちの手に!?
何を言ってる。
まあいい。あとできさまの仲間にでも聞くか。
なにっ。
バッ
バッ
この前言ったはずだ。
今度会った時がきさまの最期だと。

カインさま…。
「手を出すな。」それがカインさまの命令だ。

艦長！味方の艦が一隻こちらに来ます！
なにっ？どの船だ？

旗艦テノティテトランです！

おそらく、この扉のむこうに秘伝の書があるにちがいない。
だめだ！魔法を使ってもこの扉はあかないよ。
この神殿ごと壊さないかぎり無理ですね。
ラグさん、大変です。
マックスさんが！
ルーンファウストの兵士と戦かってます！
待ってくれ、カイン！
うるさい！きさまを殺せば、
おれはこの苦しみから逃れられるんだ！

兄ちゃん!!
マックス!!
あぶない、さがってろ!

フン。
つまらん者のために勝負に負けたな、マックス。
おろかなやつめ!

おねがいだ、カイン!
この子だけは助けてくれ。

弟!?
弟…弟……。
そうだ!おれにも弟がいた!!
あ…
弟の名は…。
弟の名は…。
ピピ
ラ…

ギャあああああ

マックス…。

マックス…。

マックス…。

わが弟よ…。

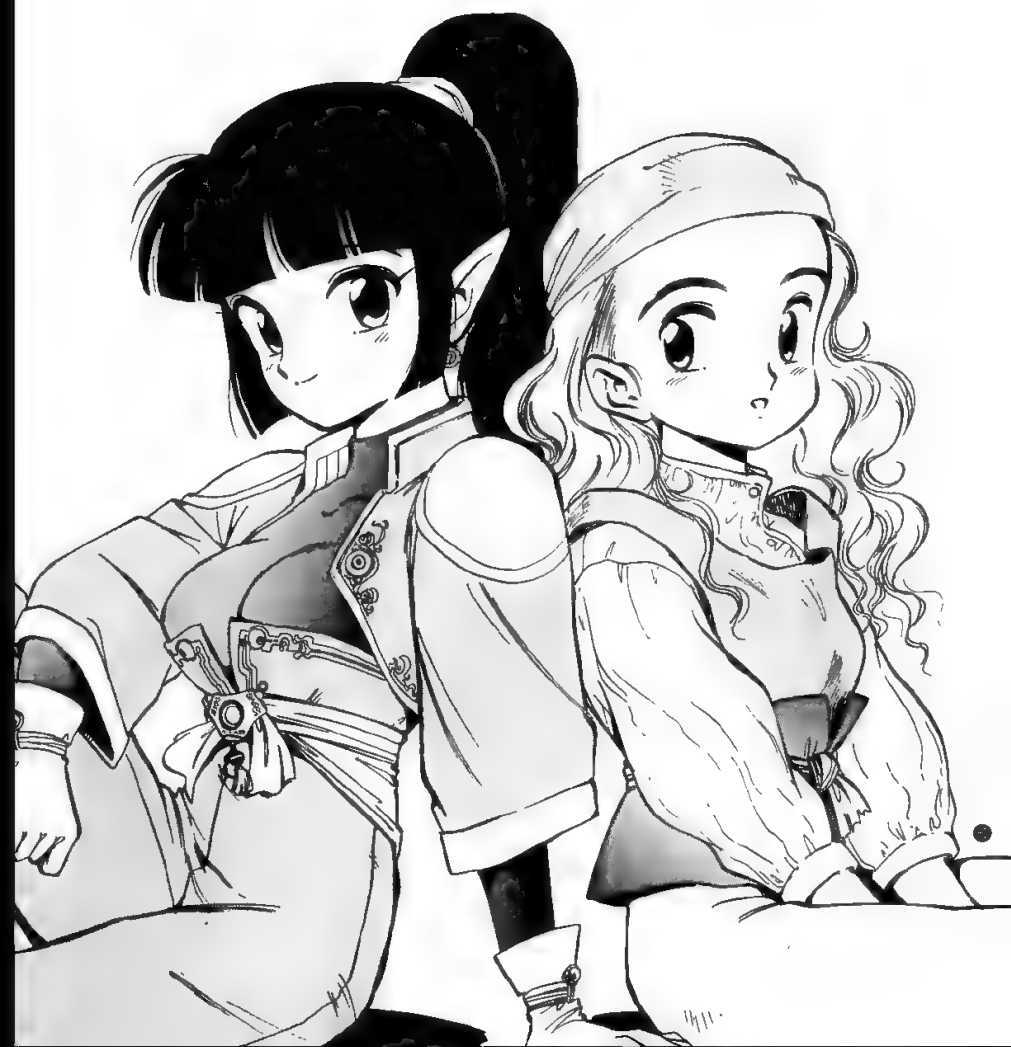
弟!!

ぐっ

大丈夫か、マックス。

ああっ、マックスそっくり!!
カイン…、あなたはおれの兄さん!?
そうだ。おまえも記憶をなくしていたんだったな。
すまんマックス…。
おれは、仮面に意識を支配されていた。

ゴォン
ゴォォ
ゴォゴォォ
ガ
旗艦テノティテトラン!?
いかん！秘伝の書があぶない！

ガゴォオオン

ガゴオオオオン
ついに
手に入れたぞ！
秘伝の書を!!
はっはっはっはっ。

きさまに
それは
渡さん！
ダークソル
覚悟お!!
どけぇ!!
ザコども！

ドォーン
ドンドドン
ドドーン

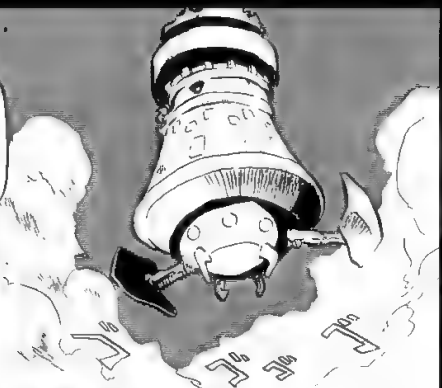
ダークソルめ！
おれの船で、後を追うんだ！
ゴゴゴゴゴ

ゴゴゴゴ…
ガガガガガッ
ガガッ
ガガッ
くそっ

カインめ。
自らの力で仮面の呪縛を破るとは…。
兄弟の魂の絆とは、かくも深いものなのか…。

まあいい……。
秘伝の書は、すでに我が手に…。
封印の鍵も、すでに我が手に…。
クックックッ。
待っていろ、黒き竜よ…。

マックスは、そっちをたのむ！
はい。
なぜでしょう。
こんな古代呪器、はじめて見るのに。
手がかってに……。
記憶はなくしていても、体は覚えてるんだな。
？
おれたち兄弟は、擬似魔法の高位技術者だったのさ。
千年も前の話だ。
千年前!?
そうだ！
おれたちは、あいつ…。
ダークソルの野望を打ち砕くために、千年の時を越えてきたんだ。
……。

今から千年前…。
擬似魔法による世界大戦が激化しつつあるころ…。
魔法工学の権威ベガ・ダークソルは、究極の破壊兵器を完成させた。
それこそは、全世界を焼き、古代人類を滅亡へとおいやった元凶…。
きみたちが、「神々の遺産」と呼ぶ悪しき力。
黒き竜!!

ダークソルは、暗黒魔法の狂信者でもあった。

暗黒魔法とは、破壊神と盟約を結ぶことで強大な力を得る、邪教徒の魔法のことだ。

そして、現在──。
どこからか、ダークソルは現れた。
おそらく、おれたちと同じように眠りについていたんだろう。
やつは、預言者を装い、国王に近づくと、あっという間に国の実権を握るまでになった。
そして、軍を使い、封印の鍵と秘伝の書を探させた。
その過程で、おれたちのシェルターをみつけたんだろう。
運よく覚醒できたおれは、マックスを逃がすことはできたが、
やつにつかまってしまい…。
仮面をつけられ、やつの手先になっていた……。

オトラントさま!

悪い報せじゃ。

ついさっきはいった情報によると、

ダークソルが黒き竜を復活させるために古の城へむかったとのことじゃ。

ええっ!!

じゃあ、すでに封印の鍵もやつの手に!?

いや、それはありえない。

封印の鍵は三種類ある。

古の門をあける鍵…。

秘伝の書を開く鍵…。

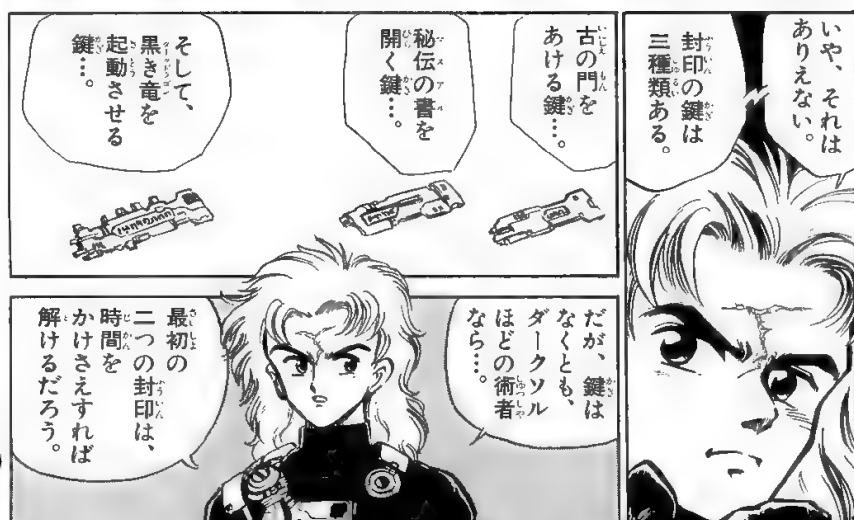
そして、黒き竜を起動させる鍵…。

だが、鍵はなくとも、ダークソルほどの術者なら…。

最初の二つの封印は、時間をかけさえすれば解けるだろう。

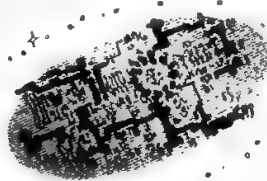
だが、最後の封印は絶対に解けない。
黒き竜は、絶対に起動できない。

なぜじゃ!?

最後の封印の鍵は、この世にはもうないからです。

プロンプト遺跡——

地下12階
黒き竜の復活阻止プロジェクトは完璧だった。
必要な呪器を邪教徒の手から守るため、世界各地にシェルターをつくり、そこに保管した。
じゃあ、この光の剣も…。
そうだ、三本あるうちのひとつだ。

だが、封印の鍵だけは形で残さなかった。
もしものことを考え、呪文化して精霊魔法で魂に刻んだ。

おれが門の鍵、おまえが秘伝の書の鍵、そして、もう一人…。
最後の鍵は、そのもう一人が持っていたんですね。
そうだ！

しかし、千年たった。
ガゴン
魂に刻まれた鍵は、その娘といっしょにあの世へ行った。永久に手に入らん…。
それでいい！
たのむ！残っててくれ。
ギギギ
カオスブレイカー製造機!!
マックスの持つ煌生成の光の剣と…。
おれの持つ闇生成された漆黒の剣…。
この二つが一つになったとき、黒き竜を倒せる唯一絶対の最強剣、カオスブレイカーが誕生する!!

マックスたち、うまくいってるかな。心配だなぁ。

もう、まかせるしかないだろう。

……。

ルーンファウストにさらわれた姉ちゃん…。ぶじだといいけど…。

よし！
これで後は待つだけだ。
カイン殿…、よかったら聞かせてもらえんかの。
そなたたちとダークソルの関係を…。
なぜそなたたちが、この計画に参加したのか。
何か、因縁があるのでは？
兄さん。
……、いいでしょう。
黒き竜は、ダークソルが基礎設計をし…。
父とおれたち兄弟が造った物なんです。
なんと!!
………。

だまされていたんです、やつに……。
父は、それを知ると命をかけて黒き竜を封印しました。
そして、母がこの復活阻止プロジェクトの責任者になったんです。
……、そうだったのか。
だからこそ!!
おれたち自身の手で、やつを倒さなければならないんです!!
では、最後の鍵を持つもう一人とは?
それは…。
ズガガガァァァン

気をつけろ、マックス！
そいつは、ルーンファウストの機械兵だ！
ピピピ…
剣も魔法も、まったくうけつけん！

目標物を確認！
ただちに、呪文の詠唱に入ります。

すまん、マックス！
後はたのむ!!
兄さん!!

兄さん!!
同時刻——、
古の城（東門）——。

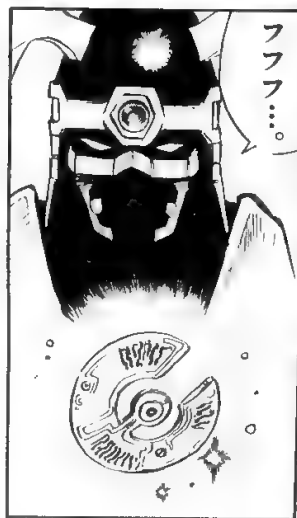
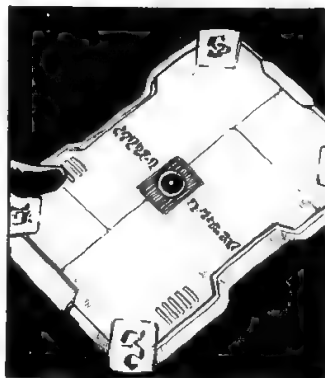
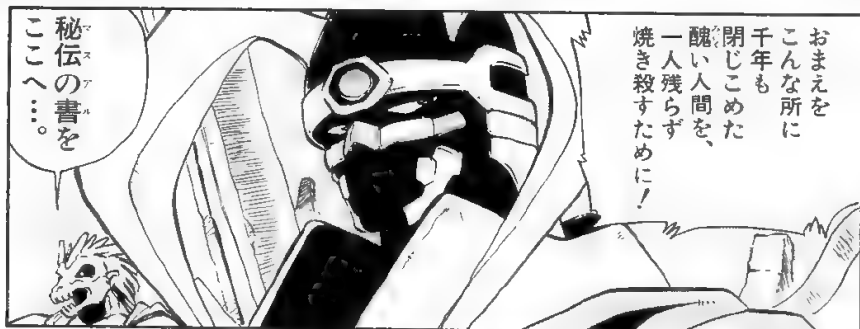
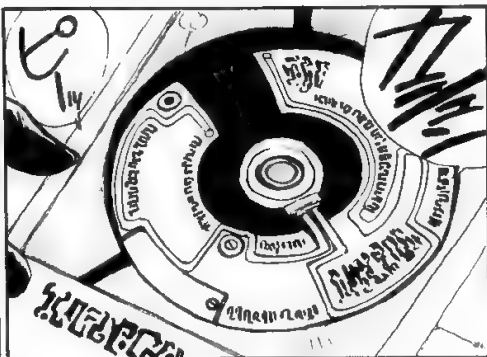
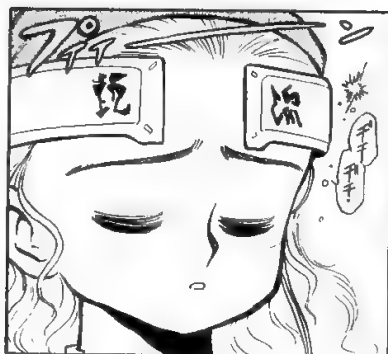
おぉおぉぉお！
第一の封印は、今、破られた！
待っていろ、我が黒き竜よ!!
千年の眠りから目覚める時が来たのだ！ハハハハハハ!!

古の城
地下神殿——
究極の破壊神、
黒き竜よ!!
ドン
ドコン
フハハハハ、
聞こえるぞ
おまえの心臓が
脈うつ音が!

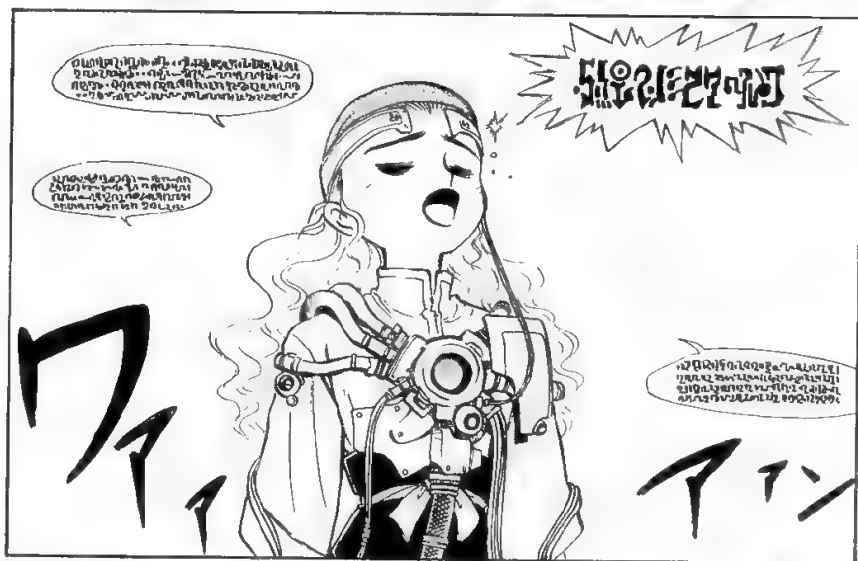
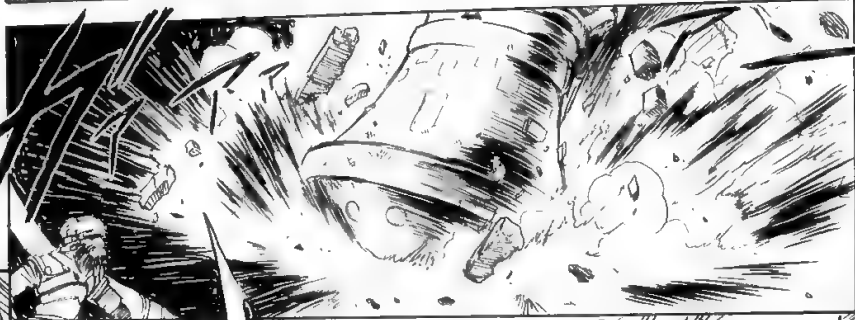
ドクン
ドクン
ドクン
さあ、はじめよう！黒き竜復活の儀式を。
奏でよう！世界を破滅へと導く前奏曲を！

おまえをこんな所に千年も閉じこめた醜い人間を、一人残らず焼き殺すために！
秘伝の書をここへ…。

フフフ…、この程度の封印、鍵を使わずとも…。
カタカタ

フフフ…。

ピーッ
第2の封印も解かれた！
ウオーンオンオン
おおっ、黒き竜へ邪悪なる力が集まっていく！
再びおまえは力を得た！
あとは黒き竜！おまえが目覚めるだけだ!!
最後の封印の鍵をここへ！

さあ、いよいよおまえの出番がきた。
その魂に刻まれた封印の鍵を今ここに…。

プィィーン
チチ チチ

ワァァ
アァン

ベガ・ダークソル!!
そこまでだ! 黒き竜(ダークドラゴン)は、絶対に復活(ふっかつ)させない!!

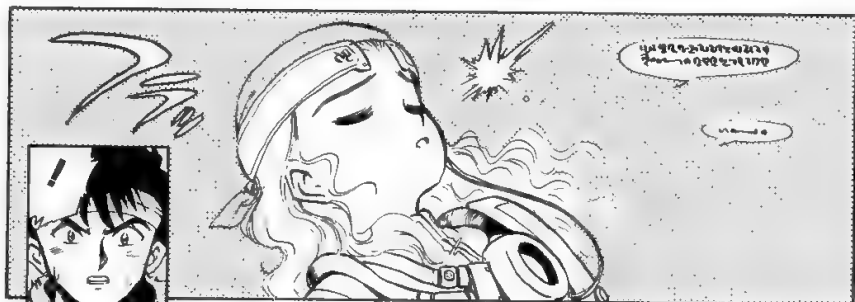
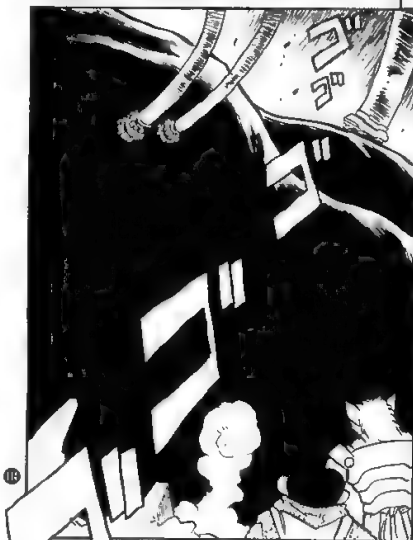
遅いわ！呪文の詠唱はもう終わる！

10分後には、きさまたちは復活した黒き竜の生贄となるのだ！

！

ルウさん!!

なぜルウさんがこんな所に!?

ゴゴ

姉ちゃん。

封印システムが解除されました。
黒き竜の完全覚醒まで600秒。
ただちに再封印、もしくは避難をはじめてください。
くりかえします…。

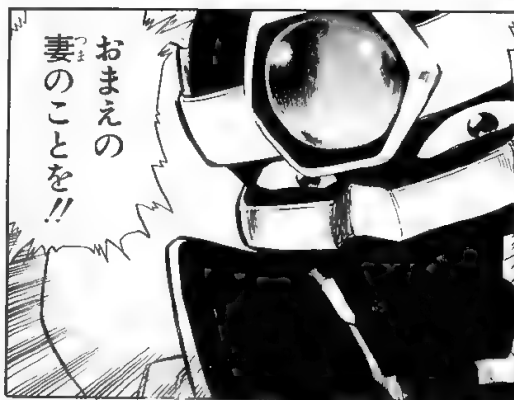
オオオオオオオオーン
やつめ！最後の封印を解いたのか!?
どうやって!? 不可能なはずじゃないの!?
オオオオ
ダークソル!!
きさま、転刻生の秘術を使ったな!!
いかにも!!

失われた魂を取り戻すため、わしは自ら霊界におもむき…。
最後の鍵を持つ女を探し出し、強制転生に成功した！
それがこの女だ！
ルウさんが……
ガーディアナに生まれおちたその女を、わしは、ずっと影から監視していた。
この日のためにな！
考えたね。魂に刻まれた物は他人には取り出せない。本人の意思が拒むからね…。
その点、転生された魂は、前世の記憶を失くしているだけ、術者には扱いやすい。
くっくっくっ。
暗黒魔法ゆえにできた術だ。
わかってもらえたかな、暗黒魔法のすばらしさが。

もっとも、マックスがその女と出会ったとわかった時は、さすがにわしも驚いたがな。

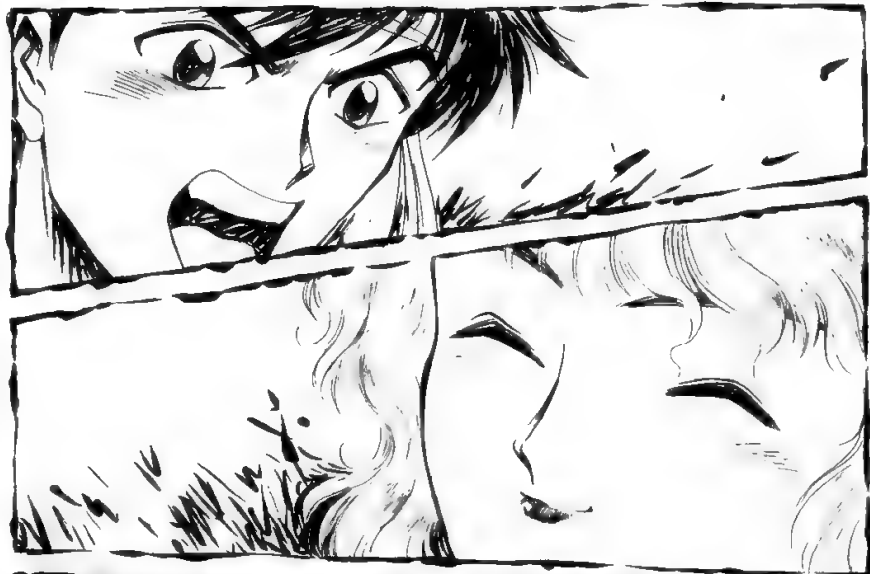
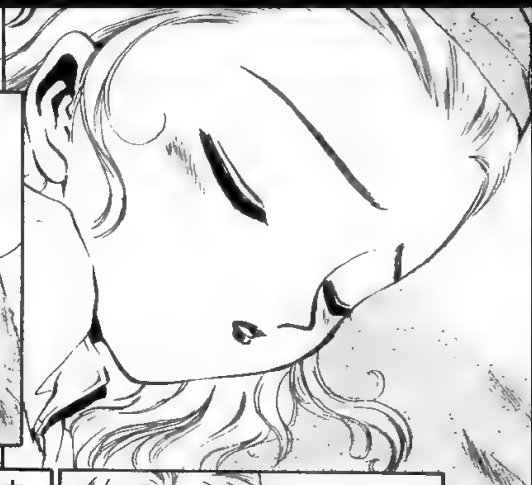
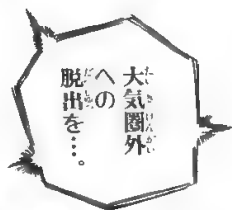
カインとマックス。マックスとその女。

魂の絆が呼び合う奇跡に！

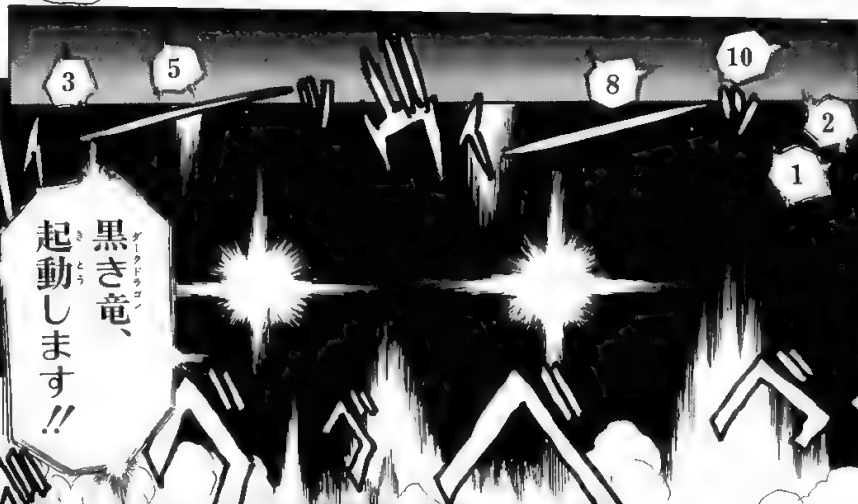
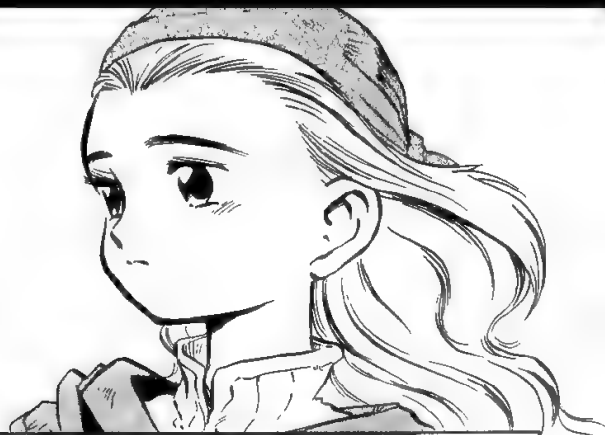
!?

忘れたか、マックス。

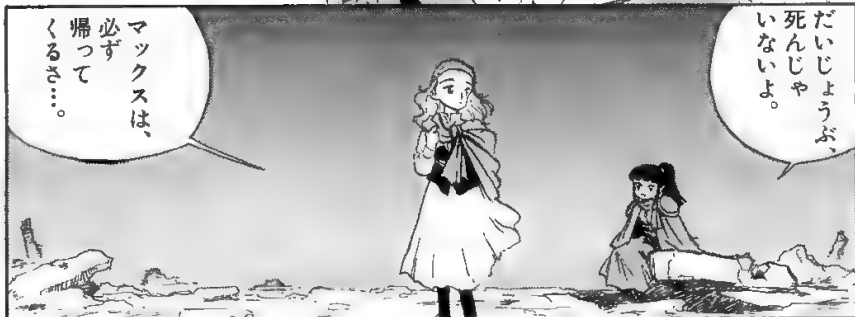
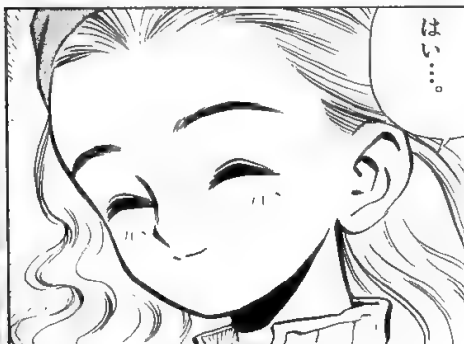
千年前、最後の封印の鍵を魂に刻んだまま死んだ女のことを!!

おまえの妻のことを!!

黒き竜完全覚醒まであと300秒。
ゴゴ
すでに再封印は不可能となりました。
ゴゴゴゴ
ウォーンウォーン
すみやかに黒き竜の破壊を…。
さあ！シャイニング・フォースの諸君よ！
そろそろ逃げたほうがいいんじゃないのかな？
もっとも…。
1時間後には、全世界が炎に包まれているがね！
はっはっはっはっは
くそお！
もはや、われわれにうつ手はないのか！

ルウさんをたのみます!
みなさんは早く船で脱出してください。
マックス…。
待てよマックス、きさま一人で残る気じゃ…。
大丈夫ですおれには対暗黒魔法剣があります。
早く脱出してください。
マックス!!
早く行けっていってんだよ!
これは、おれとやつとの戦いだ!誰にも手は出させない!!
マ…、マックス。

ガラガラ…
黒き竜完全覚醒まで、あと30秒。
大気圏外への脱出を…。
きさま、ようやく記憶を取り戻したようだな。
さあはじめようか。
ダーク・ソル。
10
8
5
3
2
1
黒き竜、起動します!!

ドゴ
オ
ドオ
ググ
ガガガガ

ゴゴゴゴゴゴゴ

それから、7日7晩がすぎ…。
世界を闇に包む嵐は去った……。

だいじょうぶ、死んじゃいないよ。

マックスは、必ず帰ってくるさ…。

いつか来るその日を…。

待とう!

はい!

ここです！
これが探位魔法が見付けたマックスさんです！
時空の狭間に落ち込んでいるようです

ああ…
今女王陛下みずからが転移呪文を詠唱しています
ルウさんさ早くこちらへ！

ゴゴゴゴ…

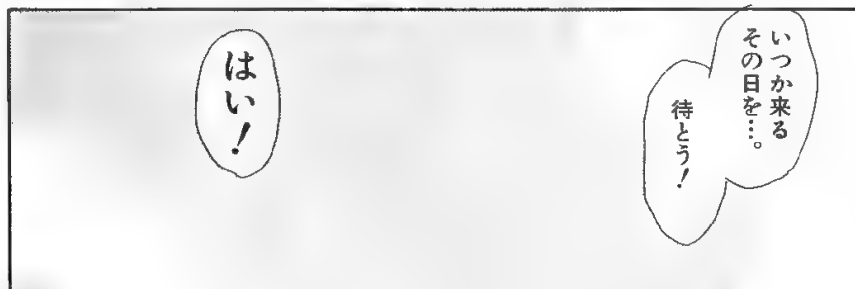
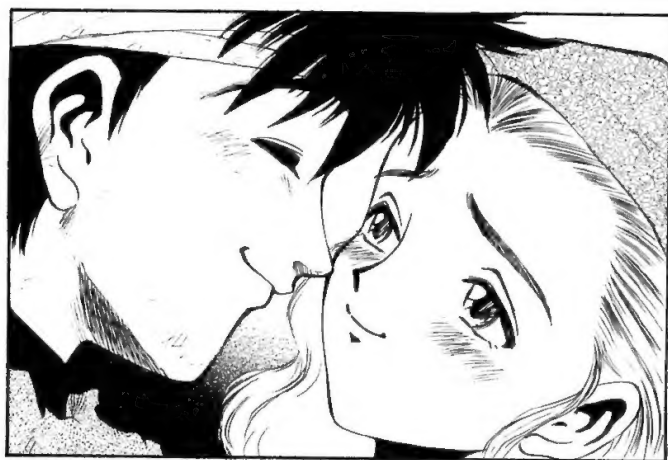
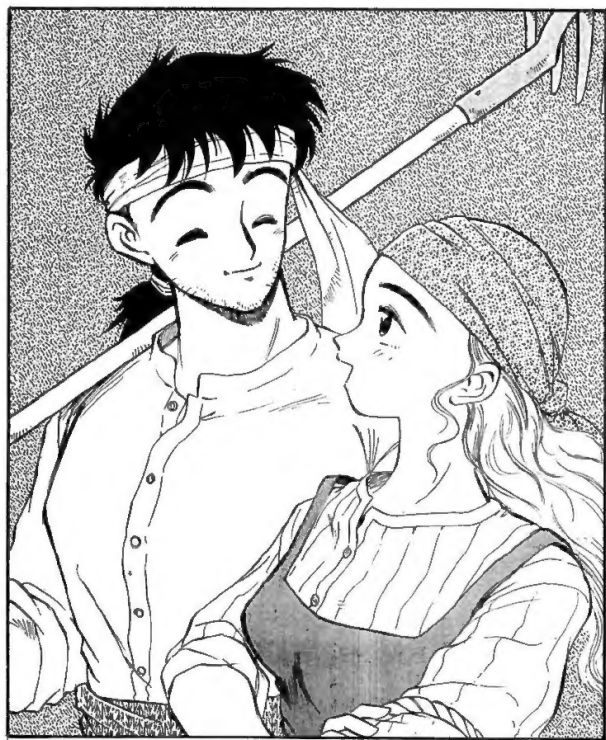
成功だ!!
チヂヂ
ニィーーッ
う
マ…
マックスさん…
ポロポロ
ガバッ
はい!!
チャラ

マーックス

完

あとがき

ま いーや 新品のメガドラもらったしー
開発中のロム
モノに弱いやつ

あのーうんともすんともいわないんですけど
……こわしましたね
そのあと編集部のお古をもらった

このまんがは「小学5年生92年3月号」「小学6年生92年4月号〜8月号」に連載されていた「シャイニングフォース正伝 聖剣士(セント・フェンサー)MAX」をまとめたものです。当初は40Pたして単行本になるはずだったのですが、異動で担当がいなくなるとともに、その話もどこかへ消えてしまい…… うう..
でも、タオさんのデザインを田沼雄一郎先生が使ってくれたり(徳間版)GAMEのシナリオを書いた和智正喜先生と今「GAMEON」で仕事をしてたりと、なにかと印象深い作品なのであります。

おくづけ

発行・GAME DOME 晴海店
発行日・1994年12月30日
印刷・PICO

SHINING FORCE